保育者養成校の学生の伝承遊びの経験について

東京都内４年制大学指定保育者養成校 TK 大学の場合

About experience of traditional play of students
of childcare center training school

飯泉祐美子(帝京科学大学)
Yumiko IIZUMI
(Teikyo University of Science)

(キーワード)
保育者養成、伝承遊び、

1. はじめに

授業内で伝承遊びを取り上げる際に「知らない」「はじめてきいた」「はじめてやった」などの声が聞こえることがある。その様な学生達は授業中では教科書を片手に表現活動を行い、指導する側からすると「本当に楽しく遊んでいるの？」と思ってしまうような滑稽な光景である。さらに別の学生の発言からは伝承遊びやわらべうたを「保育者は知らないといけないと高校時の先生に言われた」などもあり、指導者としてとても不思議な気持ちになったことがある。そこで学生の実態を把握してみるという研究に至った。

2. 調査方法

以下に示した概要で、定量調査として「知っている」「知らない」の数値の把握、定性調査として「伝承遊びについてのイメージ」「何をどのように知っているのかを調査した。

実施日　平成３１年１月７日
９：００～９：１５　１０：５０～１１：０５
計５１名　実施場所　TK 大学　音楽室

〈定量調査〉遊んだことがあったり、知っている遊びに〇をつけてください。・なかなかホイ、・通りゃんせ、・はないちもんめ、・かごめかごめ、・ずいずいずっころばし、・あぶくたった、・あんたがたどこさ、・お寺の和尚さん、・おしくらまんじゅう、・なべなべそこぬけ

〈定性調査〉「伝承遊び」という言葉をきいて、あなたは頭の中に何かを思い浮かべましたか。何か思い浮かべた場合は内容を記入してください。何も思い浮かべなかったときは、「なし」と記入してください。また〇をつけたものに関しては「遊んだ時期」「誰と遊んだ」「遊んだ場所」「または知った場所」も記入してください。

3. 結果（詳細な数値は当日）

思い浮かんだ 13 名　思い浮かばない 38 名
過半数が知っている遊び、「はないちもんめ」「かごめかごめ」「おしくらまんじゅう」「あんたがたどこさ」「ずいずいずっころばし」の５つであり、残りの５つについてはほとんど知られていなかった。

このことから「知らなかった」は本当であった。「伝承遊び」はもはや子ども達が自然発生的に遊ぶものではなく、保育者養成校では積極的に授業内で教授した方がよいという事がわかった。このように考えると保育の現場で保育者は子どもたちに単に遊ばせる為に伝承遊びを取り扱うのではなく、その価値を知りつつ、理解しつつ取り扱い、伝承していくことの一端を担っている自覚を持つ必要がある。